

環境保全のための実践行動

ここでは、“省エネルギー”、“水”、“廃棄物”について、実践的な取り組み手法を紹介します。

実際の取り組みについては“**実施体制の構築**”がポイントとなります。責任者を決めて、事業所全体で取り組みましょう。

1. 省エネルギー

1-1. 照明

- ・ 昼休み時間などの不要な照明を消しましょう。
- ・ 廊下などの照明は間引きして利用しましょう。
- ・ 自然光を積極的に取り入れましょう。
- ・ 天気のいい日は、窓側の照明を消しましょう。
- ・ 照明器具はこまめに清掃しましょう。
- ・ 閉店後は、ショーケースや看板などの照明を消しましょう。
- ・ 電球は、LED 照明に取り替えましょう。



電球型 LED ランプの省エネ効果

54Wの一般電球から9Wの電球型 LED ランプに交換した場合
年間で89.20kWhの省エネ=約2,410円の節約
CO₂削減量=50.8kg

- ・ インバータ式など効率のよい照明器具を使いましょう。
- ・ 窓側の照明だけを消せるような配線にしましょう。
- ・ タスクアンビエント照明（部屋全体の照明は落とし、必要な机だけを照明する仕組み）を導入しましょう。

1-2. 空調

- ・ 空調機器は適切な温度設定（夏28℃、冬20℃）で使用しましょう。

COOLBIZ

WARMBIZ

外気温31℃の時、エアコン（2.2kW）の冷房設定温度を27℃から28℃にした場合（1日9時間使用）

年間で30.24kWhの省エネ＝約820円の節約

CO₂削減量＝17.2kg

外気温6℃の時、エアコン（2.2kW）の暖房設定温度を21℃から20℃にした場合（1日9時間使用）

年間で53.08kWhの省エネ＝約1,430円の節約

CO₂削減量＝30.3kg

- ・ 空調機器の運転時間、区域を見直しましょう。
- ・ エアコンのフィルターをこまめに清掃するなど、定期的に保守点検を実施しましょう。

エアコンの使用時間を1日1時間短縮した場合

（冷房：設定温度28℃）

18.78kWhの省エネ＝約510円の節約

CO₂削減量＝10.7kg

（暖房：設定温度20℃）

40.73kWhの省エネ＝約1,100円の節約

CO₂削減量＝23.2kg

フィルターを月に1回か2回清掃した場合

フィルターが目詰まりしているエアコン（2.2kW）とフィルターを清掃した場合と比べると・・・

31.95kWhの省エネ＝約860円の節約

CO₂削減量＝18.2kg

- ・ 温風、冷風の向きを調節しましょう。
- ・ 窓や壁などは断熱化しましょう。
- ・ ブラインドや熱線反射フィルムを利用しましょう。
- ・ 機器の購入時には、省エネルギー型のものを積極的に購入しましょう。

1-3. O A機器

- ・ 使わないO A機器の電源をこまめに切りましょう。
- ・ タップ式スイッチを使用し、待機電力をカットしましょう。
- ・ 「国際エネルギースターロゴ」のついたO A機器への転換を図りましょう。



1-4. 給湯・調理機器

- ・ 適切な給湯量・温度で使用しましょう。
- ・ バーナーや排気筒の手入れを行いましょう。
- ・ ボイラーは蒸気漏れがないように点検しましょう。
- ・ 冷蔵庫、冷凍庫のパッキンは劣化したら取り替えましょう。
- ・ 季節に応じて冷蔵庫の設定温度を調節しましょう。
- ・ 標準以上に冷蔵庫に物を詰め込まないようにしましょう。
- ・ 冷蔵庫は、背面を壁から離し、風通しのいいところに設置しましょう。

1-5. 再生可能エネルギー、低公害・低燃費型自動車の導入等

- ・ 太陽熱温水器、太陽光発電などの再生可能エネルギーを積極的に利用しましょう。
- ・ ハイブリッド車など低公害・低燃費型の自動車を積極的に導入しましょう。
- ・ 軽油代替燃料（BDF）などを社用車に導入しましょう。

自然循環型太陽熱温水器（集熱器面積：2.84㎡、貯湯槽容量：200L）
の導入効果

（プロパンガスと比較した削減効果）

燃料節減量：226kg/年

石油代替効果：294L/年

CO₂削減効果：678kg-CO₂/年

